

## 第20回炉物理部会総会議事録

1. 日時：平成15年9月26日（第3日目）12:00-13:00
2. 場所：静岡大学静岡キャンパス A103講義室（D会場）
3. 参加者：37名
4. 議題：

（1）平成16年度部会長候補について（大杉部会長）

これまでの慣例通り、現副部会長が次期部会長に就任する案が紹介された。併せて、次期夏期セミナーは、名古屋大学が幹事機関となることが紹介された。両案とも、拍手を持って承認された。

（2）会報の発行について（奥村委員）

12月発行予定で、炉物理研究委員会で平成13&14年度に活動したWPの活動報告等の原稿を纏めつつあることが報告された。

（3）炉物理夏期セミナー」開催報告（島津副部会長）

2003年7月28-30日（於 札幌 定山溪温泉）で開催され、48名の参加があった。「炉物理を中心とした数値解析—苦労話と裏話」のテーマの下、数値解析についての経験談を織り込んだ示唆に富んだ講義が行われたことが報告された。

（4）部会予算（案）（北村委員）

配布資料に沿って、収支予算の中間報告が行われた。予算の観点からも、部会員の勧誘の継続が求められた。また、昨年度計上された日韓国際会議費は、学会主催の日韓合同セッションに代わったため、その用途について今後とも検討する必要があることが報告された。

（5）企画委員会報告（島津委員）

部会に係わる項目として、以下のことが報告された。

- ・ 部会数は増加したが、部会加入率が約40%にとどまっており、さらに2部会以上に加入している会員は1割程度である現状を鑑みて、部会の位置づけも含め、検討を継続する。
- ・ 部会賞の設置について、各部会等から意見を参考に、企画委員会で検討したが、賛否両論があり、最終的に理事会預かりとなった。
- ・ GLOBAL2005が、2005年10月2-6日 つくばで開催

（6）編集委員会報告（中島委員（宇根崎委員代理））

各部会について、特集記事の提案が編集委員に求められた。その結果、以下の2つに

ついて提案したことが報告された。

・2003 年秋の大会で開催された核データ部会・炉物理部会合同パネルディスカッション（今後の長期的な視点として提案）

・炉物理研究委員会WP活動

（7）学術研究交流小委員会報告（石川委員）

今大会において開催された核データとの合同部会セッション「核データ・炉物理研究は、社会にいかに係わるべきか」（9月26日9～11時）について、報告があった。セッションでは、パネラーが様々な視点からの分析や提案を行い、それをもとに、会場を交えた活発な議論が行われたことが報告された。今後、両部会間で、検討の場（メーリングリスト）を設けて、「核データ・炉物理研究が、社会との係わりにおいて、何かの行動を始める必要がある。」ことから議論を継続し、半年ごとの学会でその進捗を報告することが決まったこと、また、両部会からそれぞれ1名の幹事（窓口）を指名することが報告された。

（8）若手小委員会報告（名内委員）

例年通り、夏期セミナーにおいて若手研究発表会を実施した。3件の研究発表について、活発な議論が行われた。詳細は、部会報に報告予定である。

（9）部会懇親会（名内委員）

9月25日に開催され、34名が参加し、盛会裡に終了したことが報告された。

（10）平成16年度「炉物理夏期セミナー」の準備（山本委員）

平成15年度夏期セミナーにおいて、アンケートを実施した。そのアンケート結果に基づいて、場所、期間、テーマを検討している。現段階では、以下のような構想が紹介された。

日 時：平成16年8月2日（月）・4日（水）

テーマ：数値解法で検討中。

トピックスに革新炉を含めることを検討中

この構想に対して、東工大から開催日時は、新しく施行される大学の夏期休業を考慮して欲しい旨の要望が出された。

（11）日韓合同「夏の学校」について（大杉部会長）

AESJ-KNS Joint Session の発展形として炉物理部会、核データ部会、加速器・ビーム科学部会、放射線工学部会にまたがる広い範囲の分野で日韓合同の「夏の学校」が企画されていることが紹介された。第1回は、「加速器駆動炉」をテーマに平成16年7月末韓国 Pohang での開催が予定されていること、講師として部会から1名の派遣が必要であり、その推薦を10月中旬までに取りまとめ役の核データ部会へ回答すること等が

報告された。また、今後の詳細は、追って連絡すること、学生の参加等への旅費補助についても検討中であることが報告された。

( 1 2 ) その他

H14 年度 学会予算改善 WG 報告 ( 岡嶋委員 )

配付資料に沿って、H14 年度決算報告および H15 年予算に関する WG での議事内容について、説明があった。概要は以下の通りである。H14 年度決算報告では、部会等の協力、現金不足金の全額回収等によりほぼ前年度に比して約 3 7 百万円改善されたこと、H15 年予算は H14 年度同様緊縮予算であり、部会の繰越金の一時凍結も当初の通り実施することが報告された。また、今後も WG を継続して開催していく予定であることが報告された。

WP のオブザーバー募集案内

炉物理研究委員会で H15 年度に発足の 2 つの WP に関して、オブザーバーの参加者募集の案内が紹介された。

募集期間：10 月 10 日まで

連絡先：岡嶋委員

以上